

事案名	えびの市の事案（宮崎県45-1）
分類	発見・被災・掃海等処理
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「海中投棄規制条約発効後の自衛隊による化学兵器の処理状況について」〔1〕 ・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔2〕 ・『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査「平成15年10月10日」〔3〕
資料内容概要	<p>宮崎県えびの市で「ちび弾」が発見され、自衛隊が除薬処理を行ったとの証言がある。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和57年11月27日に、宮崎県えびの市の道路工事現場において「ちび弾」21発が発見された。「ちび弾」の効力は、「減消」しており、自衛隊演習場で晒粉乳液により除薬処理したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・当時の駐在所職員の証言として、「えびの市の道路改修工事中に『ちび弾』が発見された。また、白煙も確認された。宮崎県警察本部長から自衛隊にちび弾の処理依頼があり、処理が行なわれ、えびの駐屯地職員も立会った。場所の詳細は覚えていないが、えびの駐屯地近くの市道ではないか」と記載されている〔3〕。